

ギャンブル依存症 回復施設における支援の現状 ～ 山梨モデル ～

一般社団法人 グレイス・ロード
グレイス・ロード 甲斐サポートセンター

池田 文隆

グレイス・ロード



ギャンブル依存症専門の回復支援施設



グレイス・ロード

ギャンブル依存症専門の回復施設（2015年開設）

山梨県の開放的な環境の中、身体的・精神的・社会的援助となる「回復プログラム」を提供し、当事者の「居場所」となるよう「ギャンブル依存症からの回復」と「社会復帰」をサポート。

事業内容

回復プログラムの提供

グループミーティングを柱とした回復プログラムを提供

- ・日中は週間スケジュールに沿ったプログラムを実施
- ・夜間は自助グループに参加

サポート事業

プログラム修了者へのアフターサポート

- ・夜間休日の緊急連絡 ・再発予防プログラム
- ・OB会の開催
- ・休日のプログラム参加

相談事業

ギャンブル依存症でお困りの方からの相談対応

- ・施設への来所相談 ・施設見学
- ・電話・メール相談

関係機関との連携活動

関係機関との連携によるサポート

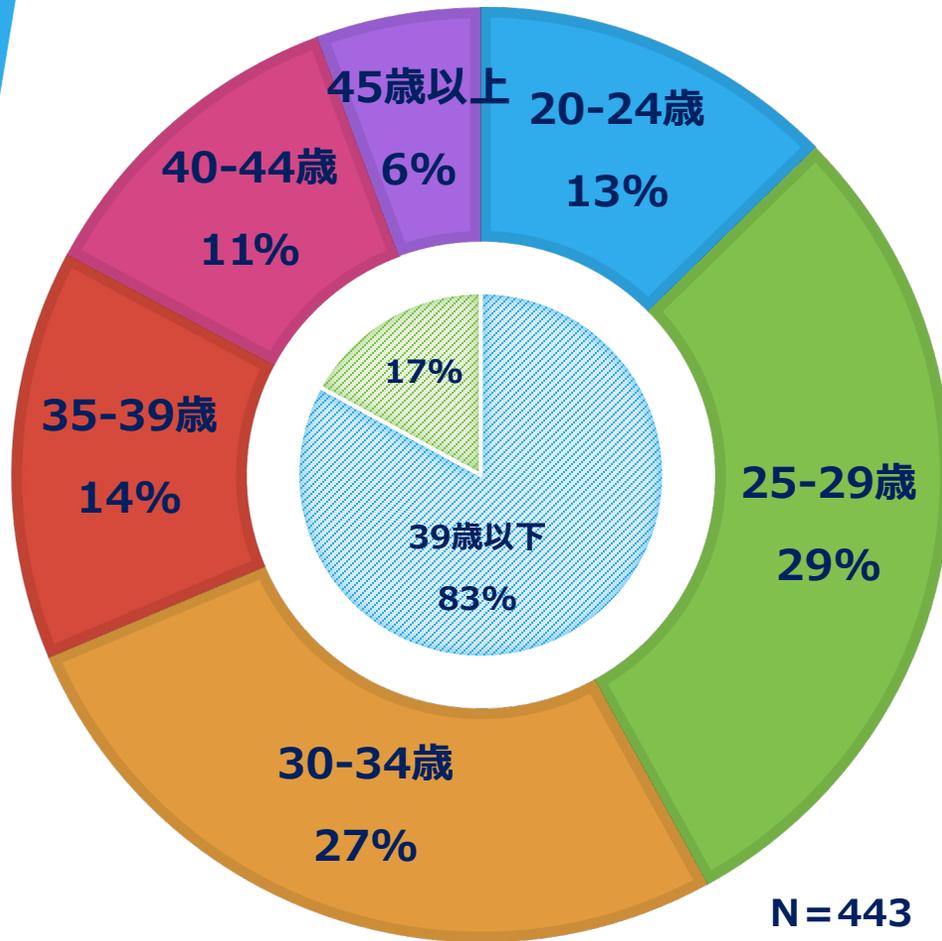
- ・医療機関との連携による利用者の診療及びアセスメント
- ・法律事務所との連携により利用者の各種法律問題へ対応
- ・行政・司法・教育機関等との連携により、講演会や勉強会・研修会等の予防啓発活動を実施

入所者の出身都道府県

N=443 (2015~2024.8までの累計・以下同)

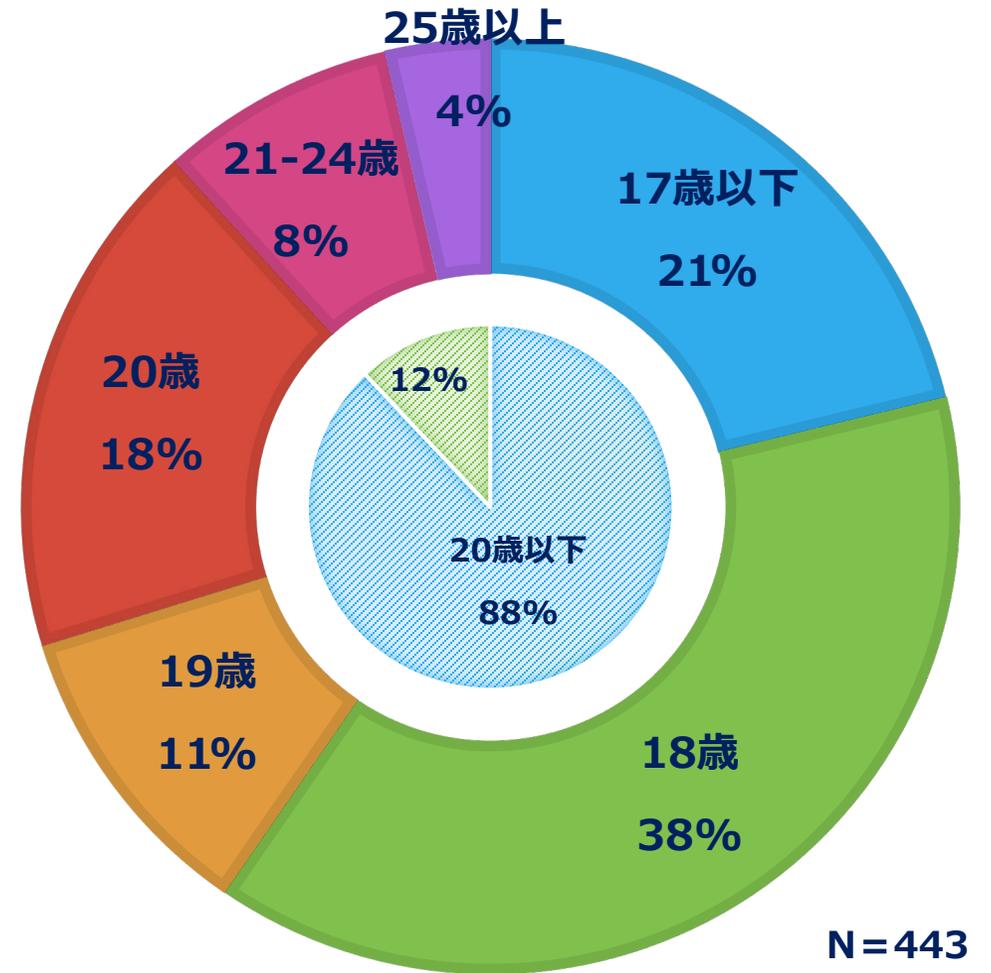
| | | | | | | | |
|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
| 北海道 | 11 | 茨城 | 14 | 三重 | 5 | 徳島 | 1 |
| | | 栃木 | 12 | 滋賀 | 6 | 香川 | 3 |
| 青森 | 3 | 群馬 | 14 | 京都 | 4 | 愛媛 | 0 |
| 岩手 | 4 | 埼玉 | 19 | 大阪 | 20 | 高知 | 8 |
| 宮城 | 10 | 千葉 | 20 | 兵庫 | 28 | | |
| 秋田 | 1 | 東京 | 63 | 奈良 | 3 | 福岡 | 21 |
| 山形 | 4 | 神奈川 | 25 | 和歌山 | 0 | 佐賀 | 9 |
| 福島 | 8 | | | | | 長崎 | 3 |
| | | 新潟 | 23 | 鳥取 | 3 | 熊本 | 3 |
| | | 富山 | 2 | 島根 | 0 | 大分 | 3 |
| | | 石川 | 1 | 岡山 | 10 | 宮崎 | 1 |
| | | 福井 | 1 | 広島 | 7 | 鹿児島 | 6 |
| | | 山梨 | 10 | 山口 | 3 | 沖縄 | 1 |
| | | 長野 | 14 | | | | |
| | | 岐阜 | 3 | | | | |
| | | 静岡 | 13 | | | | |
| | | 愛知 | 20 | | | | |

入所者の年齢



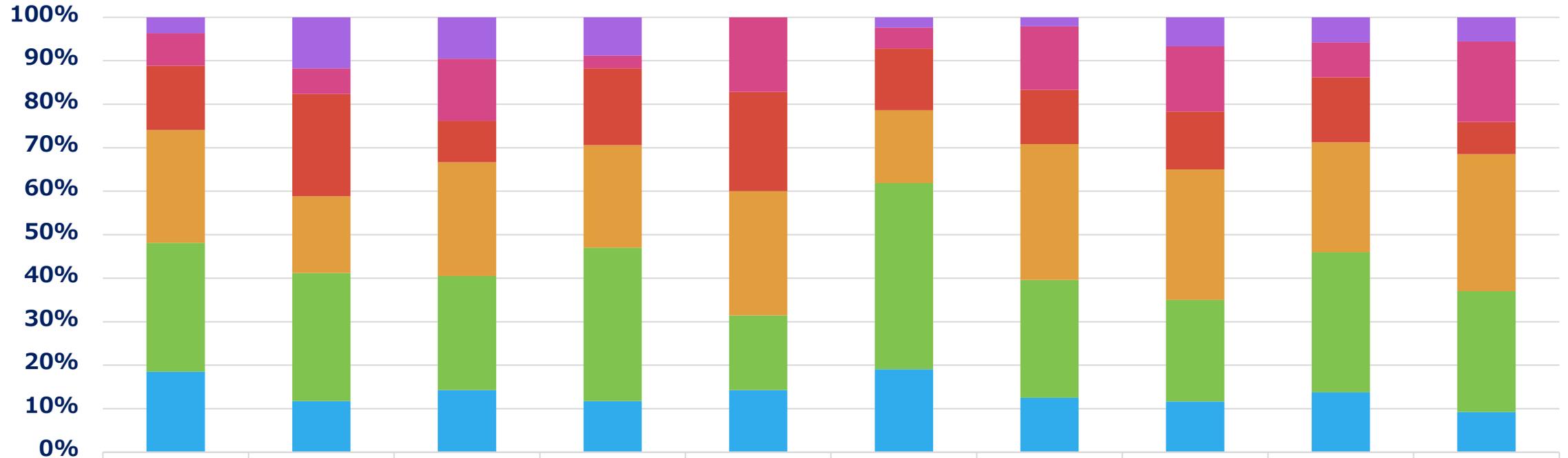
平均 32.0歳

ギャンブル開始年齢



平均 18.8歳

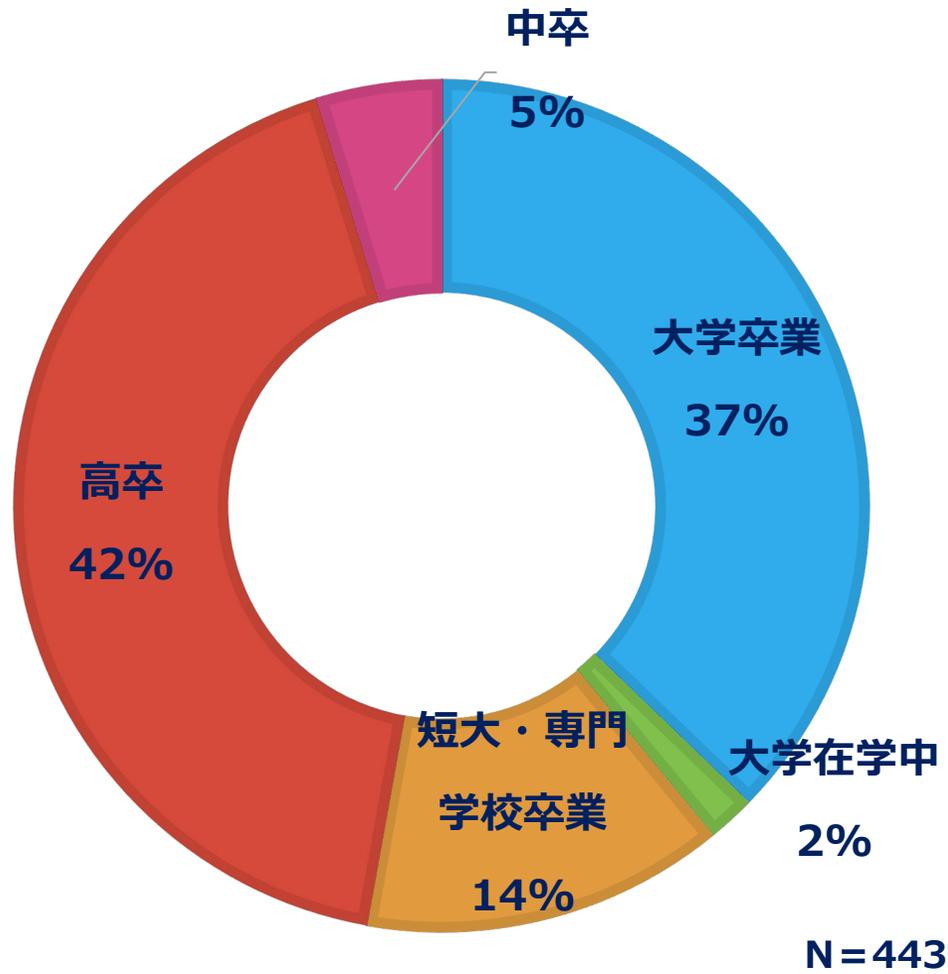
入所者の年齢層（入所年別）



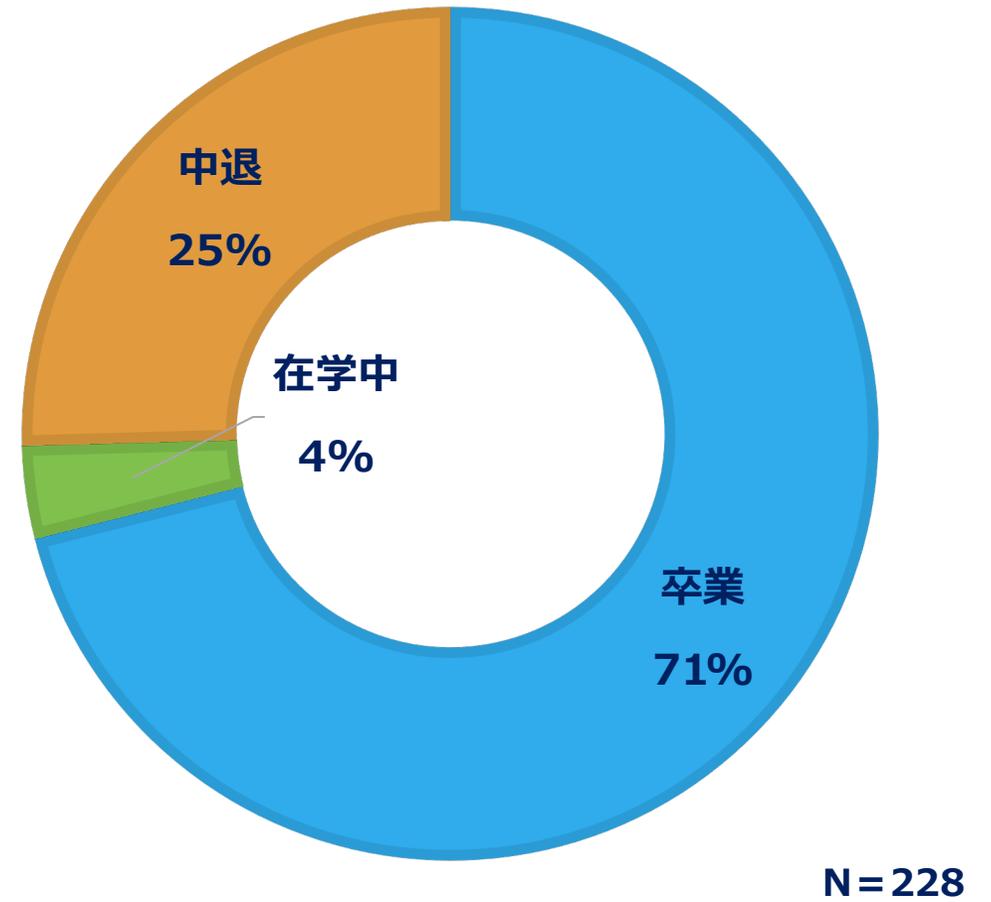
| | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024.1~8 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----------|
| 45-歳 | 1 | 2 | 4 | 3 | 0 | 1 | 1 | 4 | 5 | 3 |
| 40-44歳 | 2 | 1 | 6 | 1 | 6 | 2 | 7 | 9 | 7 | 10 |
| 35-39歳 | 4 | 4 | 4 | 6 | 8 | 6 | 6 | 8 | 13 | 4 |
| 30-34歳 | 7 | 3 | 11 | 8 | 10 | 7 | 15 | 18 | 22 | 17 |
| 25-29歳 | 8 | 5 | 11 | 12 | 6 | 18 | 13 | 14 | 28 | 15 |
| 20-24歳 | 5 | 2 | 6 | 4 | 5 | 8 | 6 | 7 | 12 | 5 |

■ 20-24歳 ■ 25-29歳 ■ 30-34歳 ■ 35-39歳 ■ 40-44歳 ■ 45-歳

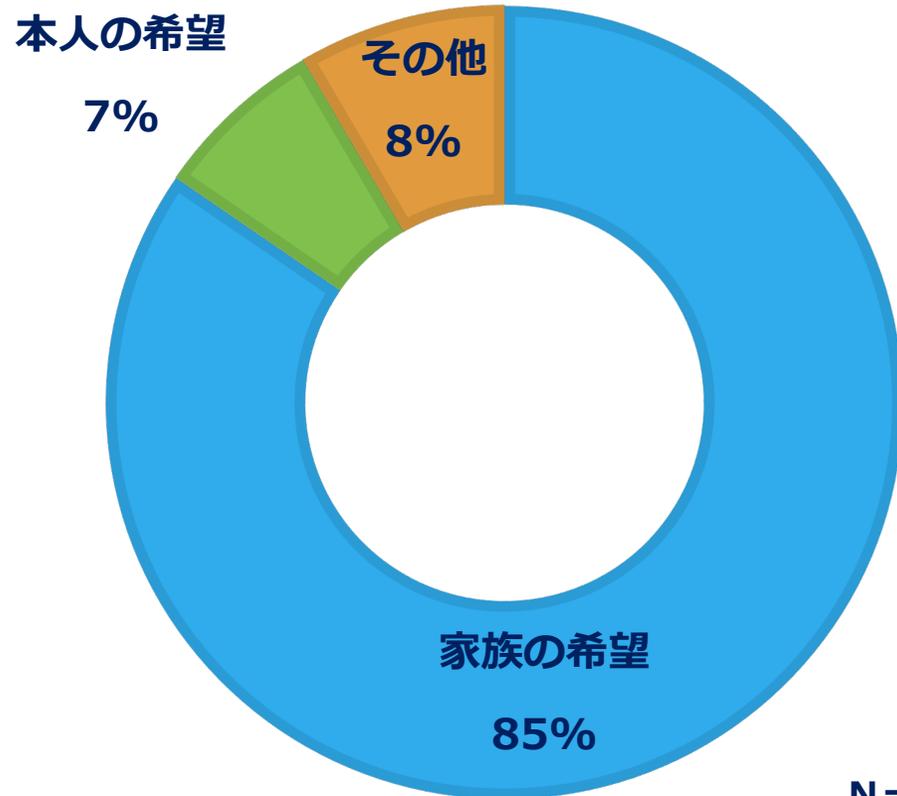
入所者の学歴



大学進学者の中退率

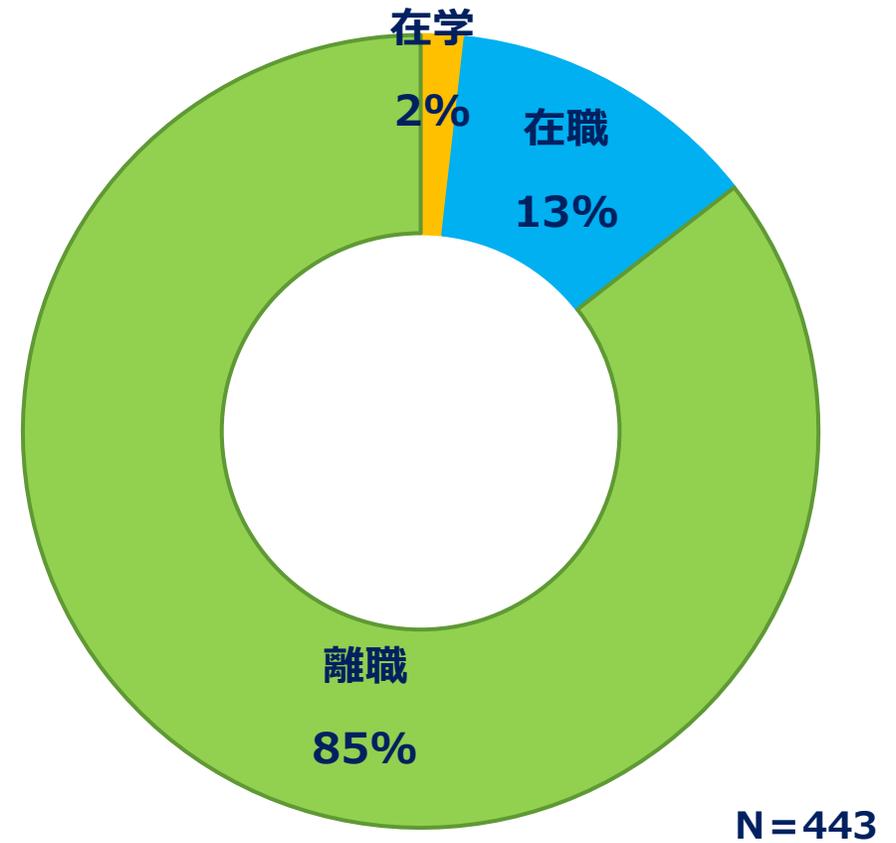


入所に至る経緯

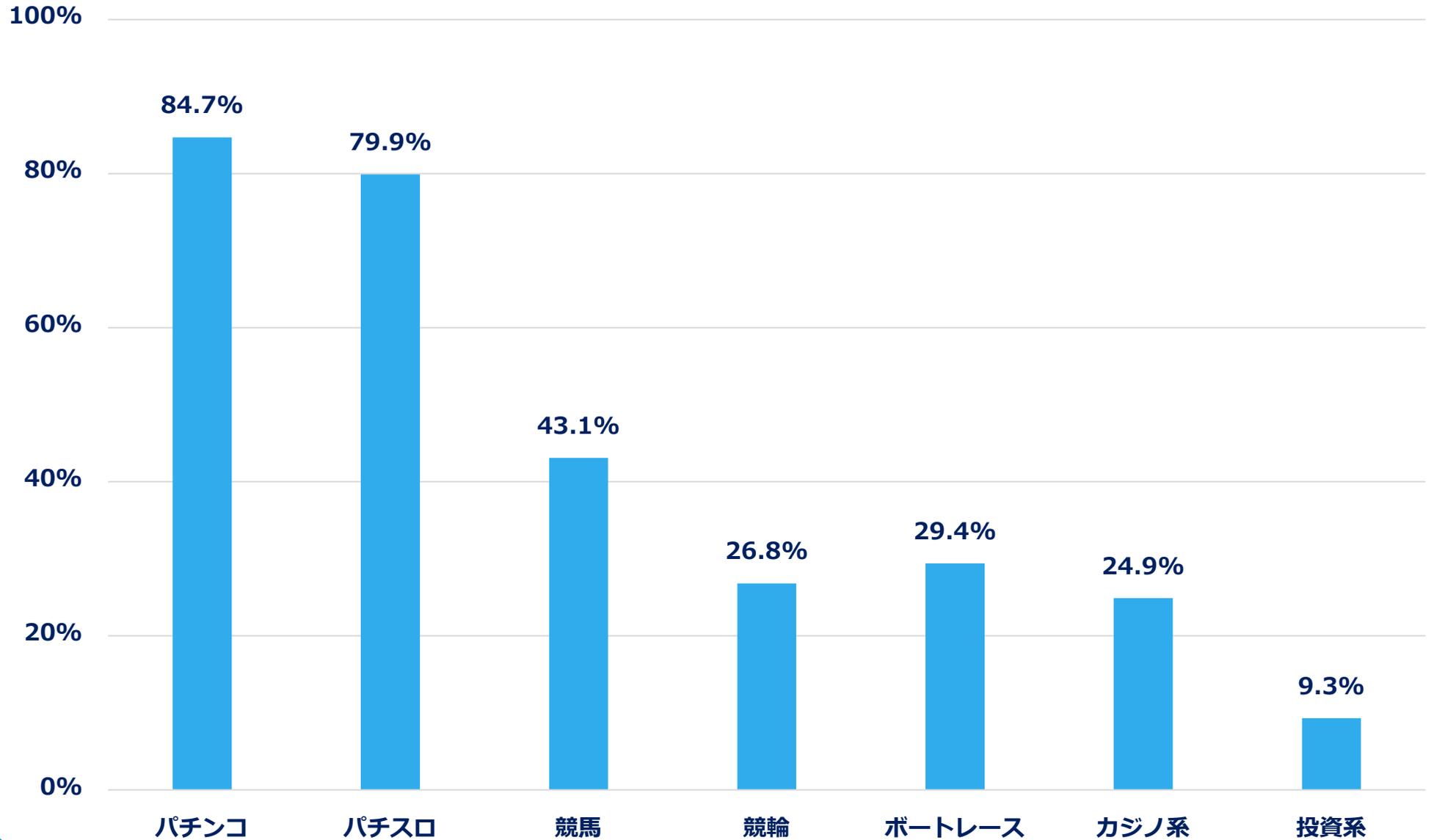


その他：病院、福祉事務所、保護観察所
弁護士、他施設からの紹介

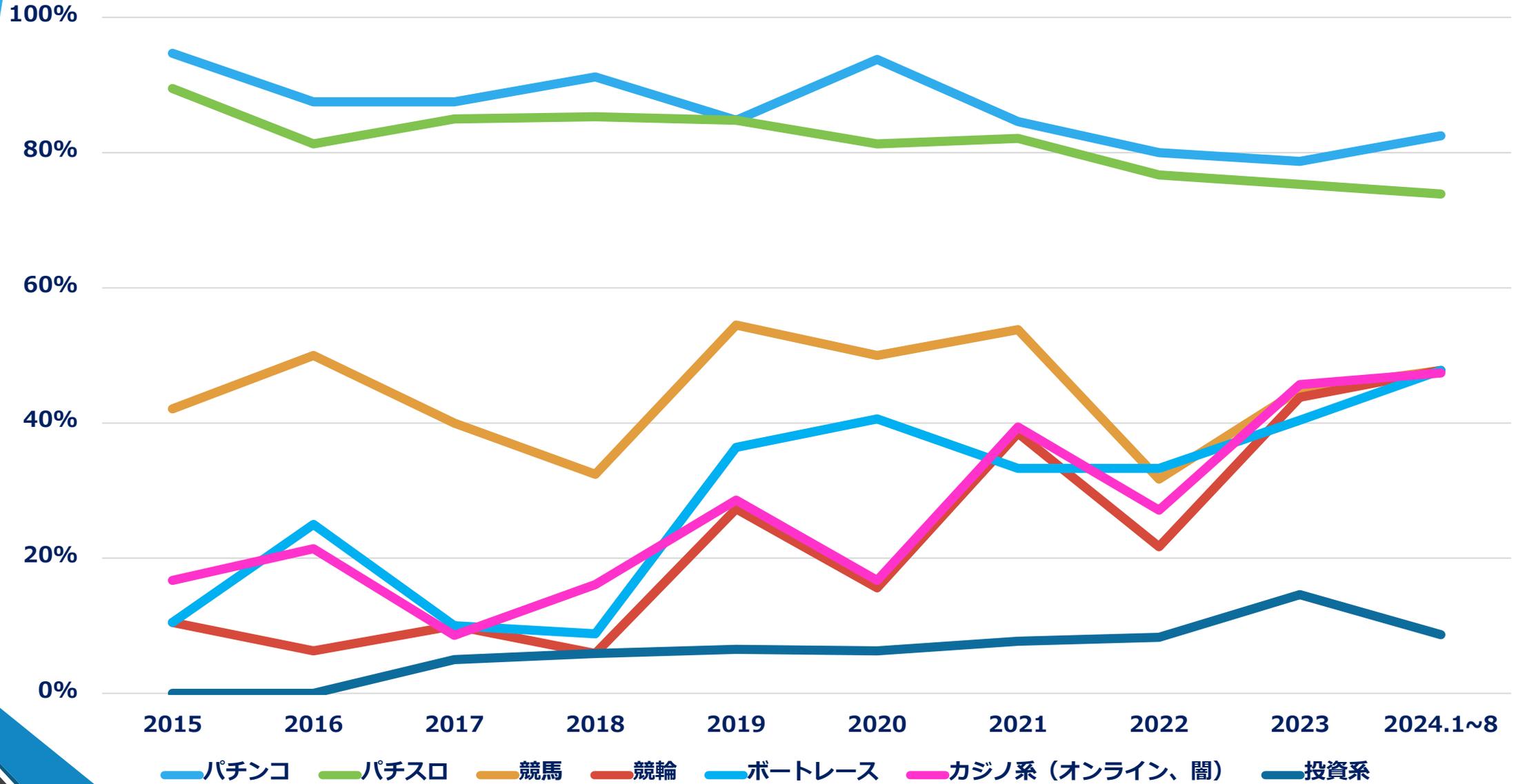
入所者の在職率



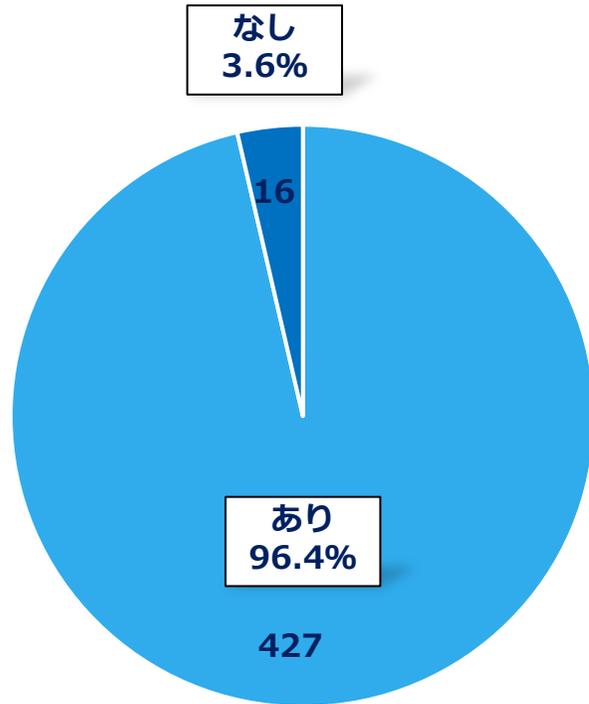
入所者の経験ギャンブル（複数回答あり）



入所者の経験ギャンブル（入所年別、複数回答あり）

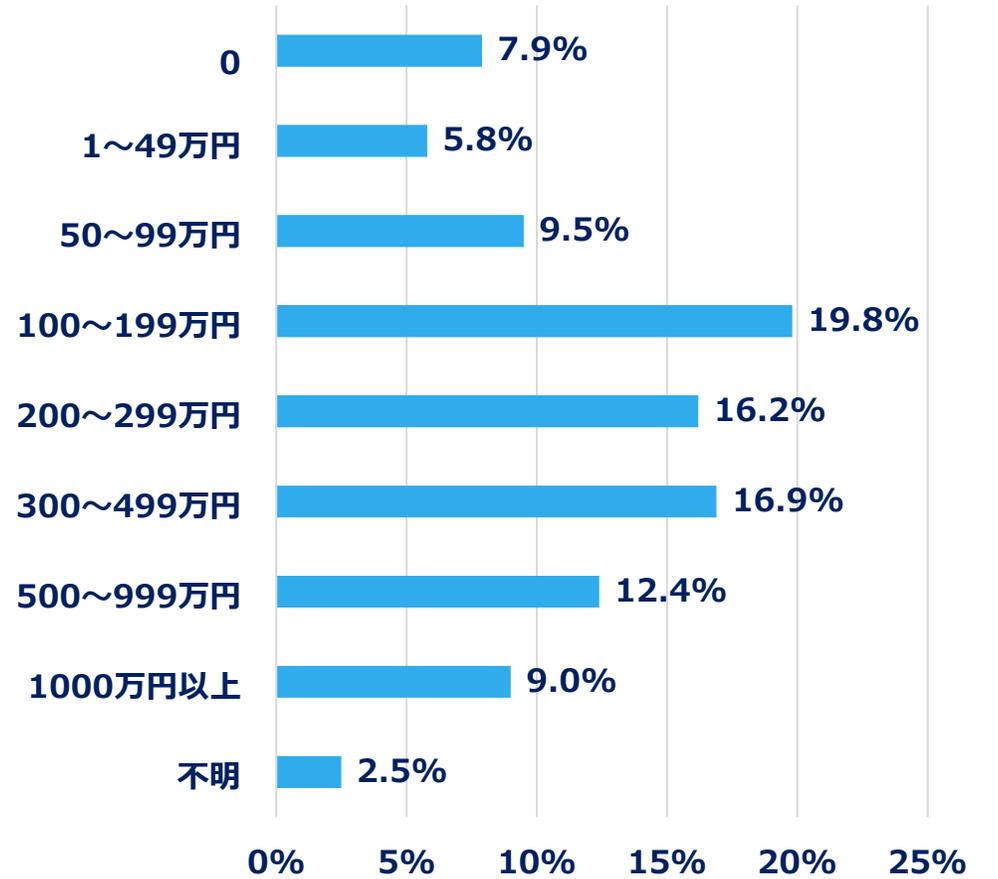


ギャンブル問題に伴う借金①



ギャンブルが原因での借金経験

N=443



入所時の借金残額

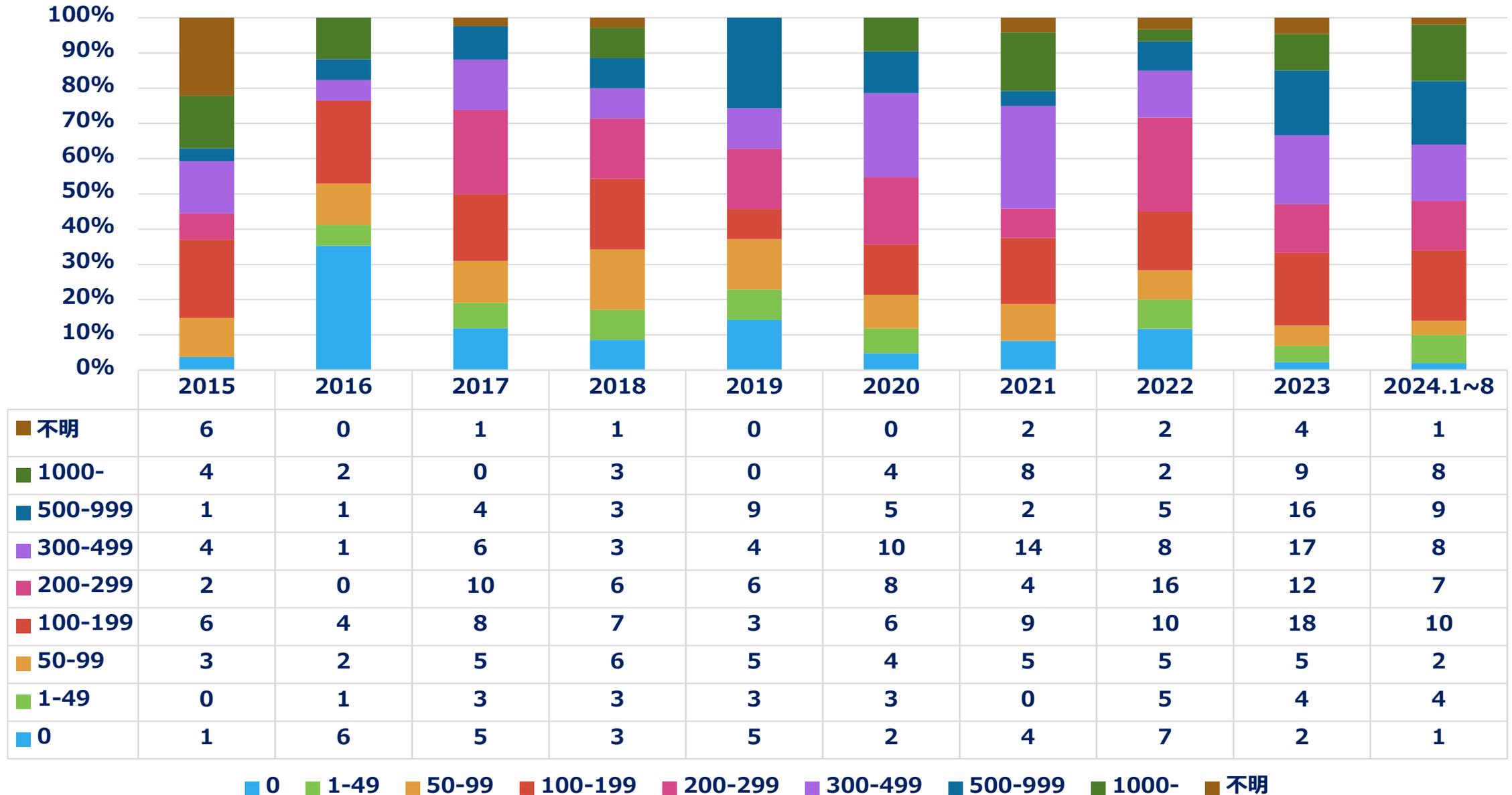
パチンコ・パチスロのみ

平均約140万円 (146人)

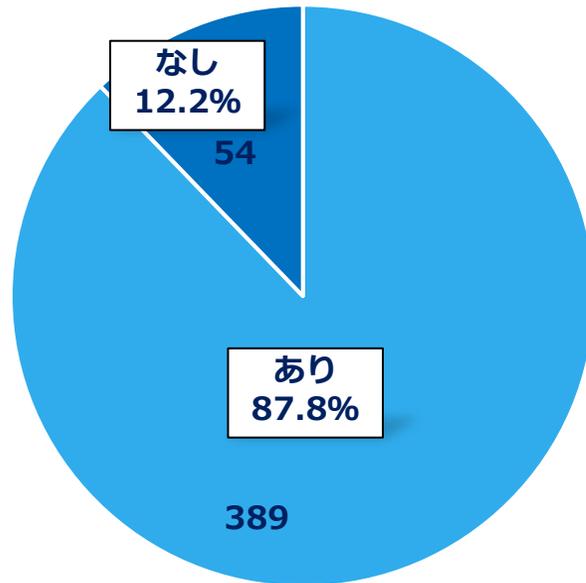
パチンコ・パチスロ以外を含む

平均約490万円 (297人)

入所者の入所時の借金額分布（入所年別）

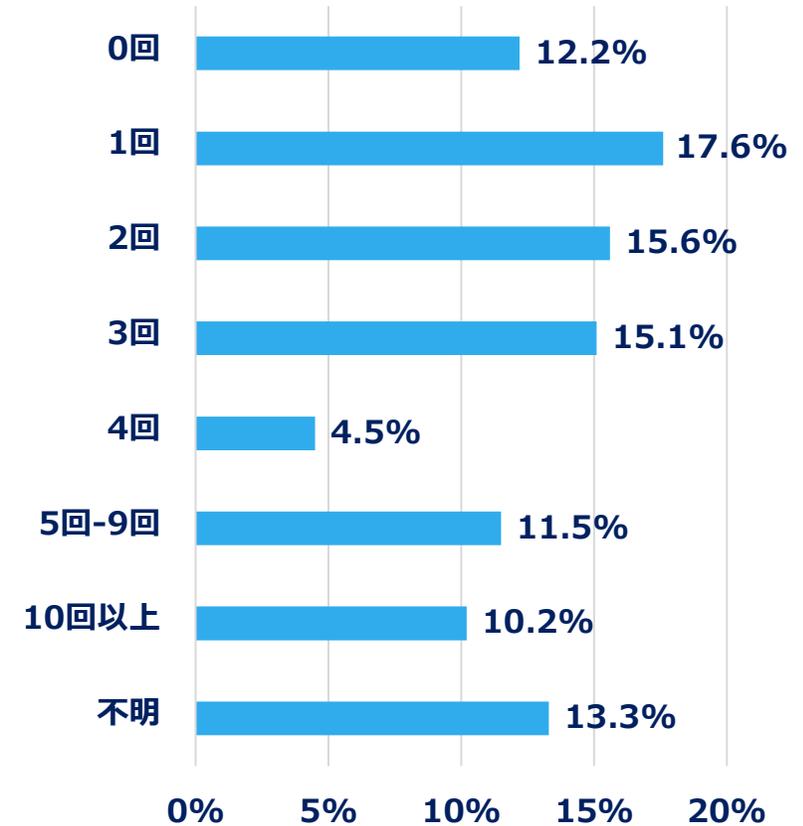


ギャンブル問題に伴う借金②



家族等による借金の立替

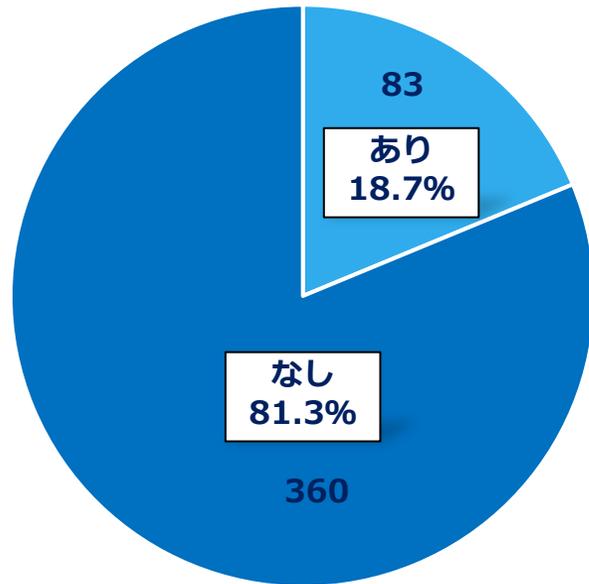
N=443



家族等による借金の立替回数

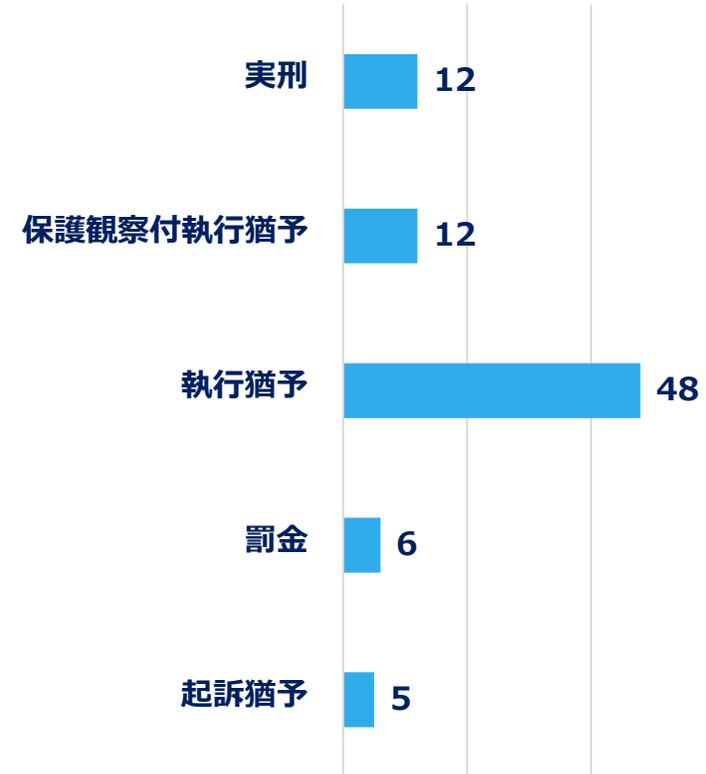
平均 3.8回

ギャンブル問題に伴う犯罪



ギャンブルが原因による犯罪

N = 443



犯罪あり83名の処分結果

プログラムのガイドライン

第1ステージ

ギャンブル依存症からの回復

- ・ 12ステップに基づいた回復プログラム
- ・ 過去の棚卸し
- ・ 毎日の自助グループ参加

第2ステージ

就労移行

- ・ 就労に向けたトレーニング
- ・ 再就職先の確保
- ・ 負債の返済計画
- ・ 居住先の確保
- ・ スポンサーシップ
- ・ 自助グループへの参加

社会復帰後

再発防止

- ・ 定期的な施設訪問（宿泊）
- ・ 再発防止チェックシートの提出（毎月1回）
- ・ 自助グループへの参加

入所中にプログラムを修得し、退所後もプログラムを継続できるように支援

回復支援のポイント

第1の否認

自分にはギャンブルの問題はない

自分はギャンブル依存症ではない

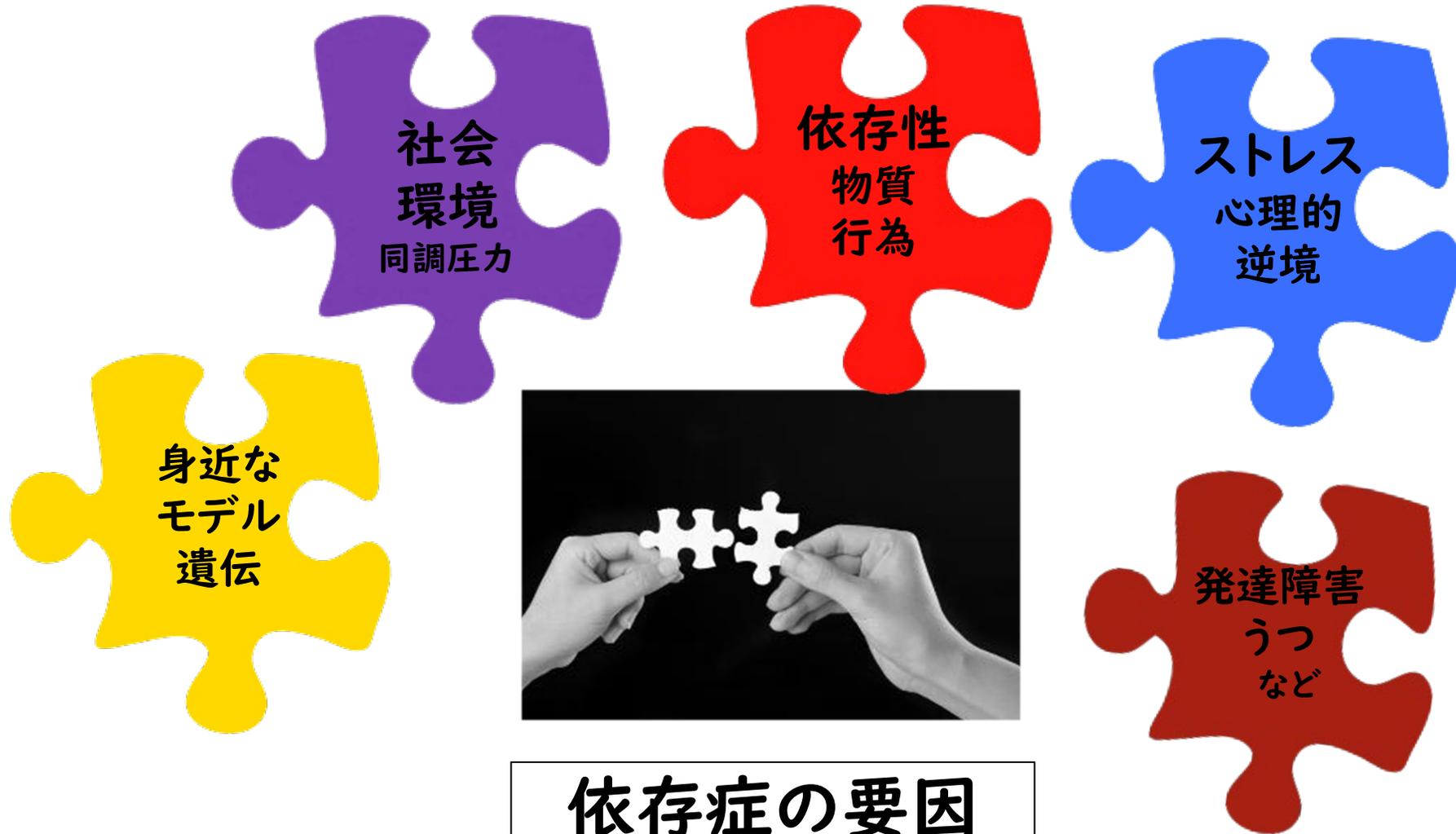
第2の否認

自分にはギャンブル以外の問題はない

ギャンブルさえしなければ上手くいく

プログラムを通して**ギャンブル以外の問題**に気付き、解決していくことで新しい生き方を身につける

依存症の背景には様々な要因がある



見えている問題は氷山の一角



表面上見えている行動

ギャンブル
借金
嘘

水面下の要因に着目する

悩み 不安
ストレス
生きづらさ
孤独
ギャンブルで抱えた絶望感

ギャンブル依存症からの回復とは

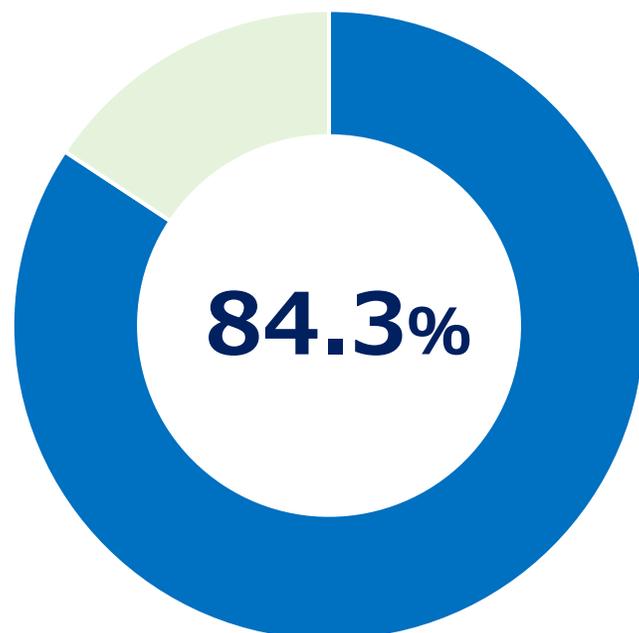
ギャンブルをやめるだけではなく

新しい生き方を手にすること



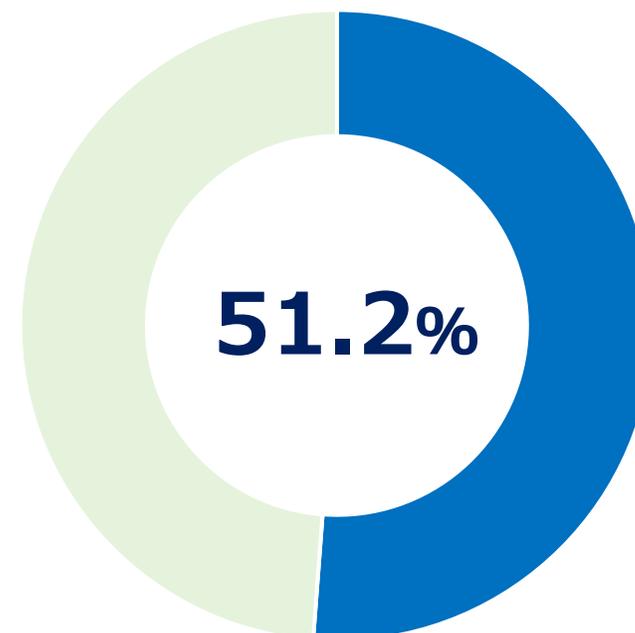
家族支援の重要性

回復プログラム修了者
家族のプログラム参加率



■ 参加 ■ 不参加

回復プログラム未修了者
家族のプログラム参加率

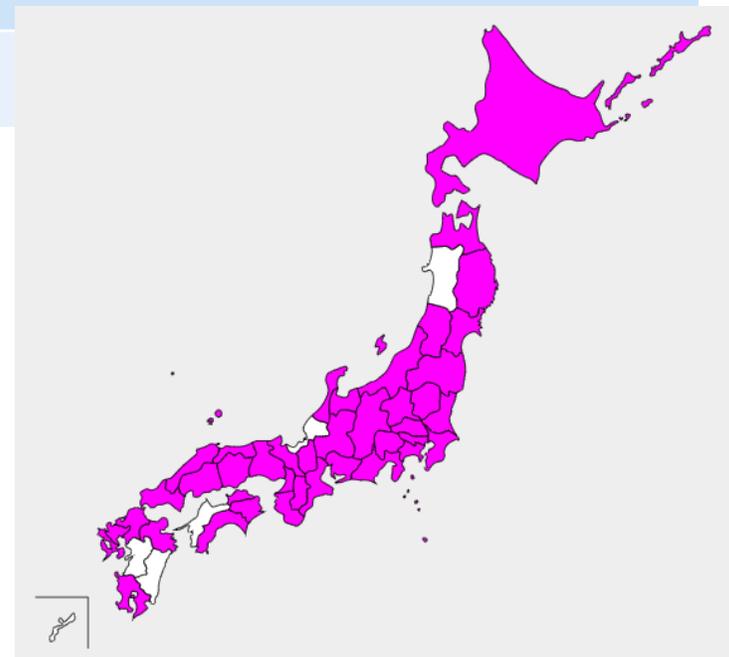


■ 参加 ■ 不参加

NPO法人 全国ギャンブル依存症家族の会

| | |
|--------|------------------------------------|
| 2016.2 | 東京でグレイス・ロード入寮者家族対象の家族会を開催 |
| 2016.7 | グレイス・ロード群馬家族会を結成 |
| | その後、茨城・山梨・東京・大阪・福島で結成 |
| 2017.4 | グレイス・ロード家族会から「全国ギャンブル依存症家族の会」へ名称変更 |
| 2017.8 | 特定非営利活動法人として認定 |
| 2024.8 | 全国41都道府県で開催中 |

「家族の会」には、家族の経験が蓄積。
経験を共有することで、当事者への正しい対応法を身につけ、当事者に振り回されない、家族本来の人生を取り戻す。 → 家族にも仲間が必要



ギャンブル依存症 甲斐の回復施設が成果

当事者と地域支え合い

地域住民との交流を通し、ギャンブル依存からの回復を支援している「グレイス・ロード」(甲斐市竜王新町)の取り組みが、「山梨モデル」として全国から注目を集めている。回復支援施設は地域から敬遠されがちだが、グレイス・ロードについては、地元住民が地域を支える力として入寮者に期待。入寮者は地域との関わりを通じて社会性や自己肯定感を得ている。国内でのカジノを解禁するIR整備法成立を受けて回復支援施設の必要性が高まる中、全国の支援者は「グレイス・ロードの取り組みを成功例として広めたい」としている。

〈古守彩〉

「不動尊焼きそばはいかがですか」。8月下旬、威勢のいい声がJR竜王駅近くの市道に響いた。声の主はグレイス・ロードに入寮する東京都出身の男性(22)。数人で祭りの屋台を切り盛りし、横笛や太鼓が得意な別の男性はおはやしを披露した。

入寮者が自治会主催の祭りに参加するのは2年目。運営する自治会役員の小沼俊彦さん(74)は「住民が減って年々活気がなくなっていた祭りが、若者が入ったことで盛り上がった」と喜ぶ。

「ギャンブル依存症問題を考える会」(東京)によれば、依存症は精神疾患の一つで、対象はギャンブルのほか、アルコールや薬物などがある。全国には約100カ所の回復支援施設があるが、開設には地域住民の抵抗があり、反対運動に発展したケースもある。田中紀子代表は「山梨のように住民と理想的な関係を築いている施設は見たことがない」という。

2015年2月に開設されたグレイス・ロードには現在60人近くが入寮。ギャンブル依存症からの回復に取り組む一方で、駅前清掃などのボランティア活動や祭り、運動会、防災訓練といった地域行事にも参加。当初は「見知らぬ若者の集団」と警戒した住民もいたが、施設や依存症への理解は進んでいる。

祭りで焼きそばの調理を担当した男性はパチンコなどで借金を抱え、今年1月に入寮。調理師を目指して専門学校に通った経験があり、「おいしいよ』『頑張っているね』と声を掛けてもらえるとうれしい。もっと役に立ちたいと思える」と話す。

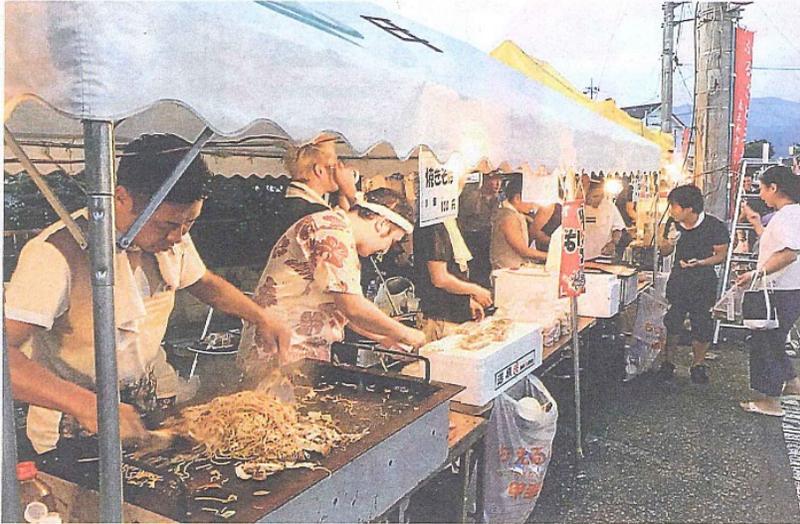
「入寮者はさまざまな資格や特技を持っている。地域貢献を通じて、自尊心や社会性を取り戻すきっかけになっている」とスタッフの池田文隆さん。回復プログラム修了者16人のうち10人は県内企業に就職した。

9月8日にはカジノの誘致計画が進む大阪府で、ギャンブル依存症を考える全国シンポジウムが開かれ、グレイス・ロードの入寮者や地域住民が招かれた。自治会長の清水喜美男さん(71)は「貴重な若

者を放っておくのはもったいない。どうやって地域で生かしていくか考えるべきだ」などと訴えた。

7月のIR整備法成立で国内のカジノ施設は現実味を帯び、依存症からの回復を支援する施設の重要性が高まっている。田中代表は「施設を受け入れた地域住民の寛容さによって、入寮者が回復している事例を『山梨モデル』として全国に広めていきたい」と話している。

山梨モデル 全国に発信



地元の伝統の祭りで屋台を切り盛りする「グレイス・ロード」の入寮者ら
＝甲斐市竜王新町

山梨モデル

地域住民がグレイス・ロードを受け入れ、利用者の回復、
社会復帰をサポート

回復した利用者が社会参加することで、地域が活性化する
という相乗効果を生む社会モデル

利用者・・・地域行事への参加や地域住民との交流を通じて自尊心や社会性を取り戻し、
ギャンブル依存症から回復。社会の有用な一員として活躍

地域・・・人口増加・雇用創出・伝統行事の継承

回復を信じ、応援してくれる人の数と回復率は比例する

地域連携による就労支援

地元商工会議所との連携により、求職中の入所者向けの就職説明会を実施

入所者はさまざまな資格や職歴を持っており、
社会の有用な一員として活躍できる人材が多い
という現状を理解してもらったことで実現



地域連携（令和6年度）

山梨県ギャンブル等依存症対策懇談会

山梨県依存症連携会議

山梨県心のサポーター（依存症サポーター）養成事業

山梨県立精神保健福祉センター 「家族教室」「当事者ミーティング」

山梨県弁護士会 「刑事弁護における福祉関係者との連携に関する勉強会」

甲府刑務所 「教育プログラム」「当事者ミーティング」

長野県立心の医療センター駒ヶ根 K-GAP（オンラインミーティング等）

甲府保護観察所、山梨税務署、山梨県教育委員会、甲府市教育委員会、山梨県内外の学校講演

最後に

- ・ギャンブル依存症からの回復とは、ギャンブルを止めるだけではなく、ギャンブルを必要としない生き方を手にすること
- ・回復は、人や社会との関わり、信頼関係において生まれる
- ・家族の回復と本人の回復は相関関係がある
- ・社会全体で依存症に対する偏見・差別を解消し、当事者や家族が適切な治療・支援につながるよう行動変容を促すことが社会にとって有益